令和２年度　授業改善推進プラン　全体計画

東大和市立第四中学校

東大和市教委教育目標

・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
・自ら学び考え行動する、個性と想像力豊かな人間

学校教育目標

知育・徳育・体育のバランスの取れた教育活動を推進し、心豊かでたくましい日本人を育成する。将来自己実現するための学力・体力・粘り強く努力する気力を培う。
・自ら考え、学び続ける生徒　（重点教育目標）
・豊かな心をもち、自他を尊重する生徒
・健康で、たくましく生きる生徒

目指す生徒像

・基礎的な知識や技能を身に付け、論理的に考え判断する生徒
・多様な価値観をもつ生徒
・自尊感情の高い生徒
・自他の健康や安全に配慮する生徒
・簡単にあきらめず、粘り強く課題の解決に取り組む生徒

学校経営方針

東大和市教育委員会教育目標や本校の学校教育目標・目指す生徒像に基づき、義務教育の最後の３年間において、将来自己実現するための学力や体力と、何事にも簡単にあきらめず、粘り強く取り組もうとする気力を培うことを目指す。また、人権教育の研究・実践を通して自他を思いやる精神を育み、主体的に学びに取り組む授業を通して思考力・判断力・表現力の向上を目指す。

指　導　目　標

本校では、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、「確かな学力」の育成を推進する。
・基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け主体的に計画を立て、自ら進んで学習する力を育成する。
・学習やコミュニケーション能力の基盤となる「言語能力」を育成し、対話的な教育を推進する。
・学んだことを活用し、自分の考えを形成したり、課題を解決したり、創造したりする力を育成する。
・体験的な学習・課題解決的な学習・情報に関する学習・自己を見つめる学習等を取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成する。
・個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。
・家庭や地域との連携を図り学習習慣を確立させ、学習時間の充実と学力の向上を目指す。
・人権教育推進校として、生徒の自尊感情を高め、自他を大切にする意識・意欲・態度を育む。
・オリンピック・パラリンピック教育を推進する。

各教科の指導の重点

・電子黒板、プロジェクター、タブレット等の ICT 機器を活用する。
・声掛けや机間指導を丁寧に行い、課題のある生徒を早期発見し、適切な支援を行う。
・新学習指導要領の実施に向け、言語活動の充実を図り、生徒の思考力・判断力・表現力を伸長させる。
・授業や定期考査の結果をもとに課題を確認し、改善の取組を行う。
・授業時数を確保し、履修漏れを起こさない。

道徳の指導の重点

・多様な価値観に触れ、自らの考えを深める。
・指導内容・評価の充実を図る。
・保護者や地域の方々と連携を図る。

特別活動の指導の重点

・自主的、自発的な取組を大切にする。
・生徒の主体的・対話的・深い学びの実現を図るとともに、信頼関係を高めあい望ましい人間関係を築く。

進路指導の重点

・学んだ知識を相互に関連付け、自己実現に活かす力を伸ばす。
・望ましい勤労観や職業観を育む。

生活指導の重点

・基本的な生活習慣や明るく元気なあいさつ、丁寧な言葉づかいを身に付けさせる。
・規範意識を高め、マナーや時間を守る意識、物を大切にする態度等を育む。
・「四中人権宣言」を活用し、人権について考えさせる機会を設ける。
・いじめや暴力の予防と早期発見、早期対応や、不登校生徒への速やかな対応等に努める。

総合的な学習の時間

・教科や特別活動との関連性を図り、体験的、探究的な学習において、課題の解決に必要な知識・技能を学ばせる。
・学習過程において主体的で協働的な取組を行う。

本　校　の　授　業　改　善　に　向　け　た　視　点

学習内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
向上心や意欲を高め、主体的・対話的に学ぶ姿勢や家庭学習の充実を図る。地域未来塾を活用する。	新学習指導要領の先行実施を通し、先進的で創意工夫のある教育課程の編成と実施を図る。	全校体制で「学力の向上」「人権教育」の取組を推進する。計画的・組織的に研修・研究に取り組む。	教員の授業改善及び指導法の工夫を通し、適正な評価の充実を図る。評価を分析し、指導に反映させる。	学校運営協議会、ボランティア活動など、コミュニティ・スクールとして地域連携を図る。